

「京滋中小企業応援ファンド」を設立しました

京都信用保証協会は、中小企業基盤整備機構、京都府と滋賀県に拠点を置く地域金融機関、滋賀県信用保証協会とともに、官民一体となって地域の中小企業を支援する「京滋中小企業応援ファンド」を令和7年3月27日に設立しました。

本ファンドは、物価高の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響による経営環境の悪化を背景として、過剰債務等により経営状況が悪化しているものの、本業には相応の収益力があり、財務改善や事業見直しにより再生可能な京滋地域の中小企業を主な支援対象とします。中長期的に金銭債権や株式等の保有や金銭の貸付等を行い、財務の再構築等を図るとともに、継続的なハンズオンによる経営支援を行い、中小企業の再生を支援することを目的としています。

なお、本ファンドの運営は、株式会社京滋リバイタル（株式会社リサ・パートナーズの連結子会社）が行います。

【ファンド概要】

名称	京滋中小企業応援ファンド投資事業有限責任組合
設立	令和7年3月27日
ファンド形態	投資事業有限責任組合
ファンド総額	2,000百万円
ファンド出資者	中小企業基盤整備機構、株式会社滋賀銀行、株式会社京都銀行、株式会社関西みらい銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫、京都北都信用金庫、滋賀中央信用金庫、長浜信用金庫、湖東信用金庫、滋賀県信用組合、滋賀県信用保証協会、京都信用保証協会、株式会社京滋リバイタル

本ファンドの詳細につきましては、[株式会社リサ・パートナーズのニュースリリース](#)をご覧ください。